

# 京都大学

	問題テーマ	時代	地域	分野	字数
<b>大問 1</b>					
2013	ウンマの成立と正統カリフ時代の変化	中世	西アジア	政治・社会	300
2012	魏晋南北朝時代の仏教・道教	古代	東アジア	政治・文化	300
2011	中国の経済的中心の移動	古代・中世	東アジア	政治・社会・経済	300
2010	中国共産党	現代	東アジア	政治	300
2009	インド民族運動の宗教対立とイギリス	近代・現代	南アジア	政治・社会・文化	300
2008	士大夫が基盤とした土地制度・文化	中世・近世	東アジア	社会・文化	300
2007	中国王朝の北方民族対策	古代・中世・近世	東アジア	政治	300
2006	中東諸国の独立	現代	西アジア	政治	300
2005	日中関係	近代・現代	東アジア	政治	300
2004	遊牧国家とイスラーム	中世・近世	東アジア・西アジア	政治・社会・文化	300
2003	中国の君主独裁体制	古代・中世・近世	東アジア	政治	300
2002	唐代の周辺諸国の興亡	中世	東アジア	政治・文化	300
2001	イスラム文化の影響	中世	欧州・西アジア・南アジア	文化(宗教含む)	300
2000	2世紀末～3世紀末の中国	古代	東アジア	政治・社会・文化	300
1999	トルコの近代化	近代・現代	西アジア	政治・社会・経済・文化	300
1998	中国の官吏登用制度	古代・中世・近世・近代	東アジア	政治・社会	300
1997	五四運動と天安門事件	現代	東アジア	政治・文化	300
1996	東西世界の交流	中世	欧州・東・西・南アジア	経済・文化	300
1995	明の対モンゴル政策	近世	東アジア	政治	300
1994	五胡十六国から南北朝	古代	東アジア	政治・社会・文化	300
1993	イスラムの中世	中世	西アジア	政治・社会・文化	300
1992	戊戌の変法	近代	東アジア	政治・文化	300
1991	春秋戦国時代の社会変化	古代	東アジア	社会・経済	300
1990	唐から宋への時代の変化	古代・中世	東アジア	政治	300
1989	モンゴル帝国時代の東西文化交流	中世	欧州・東アジア・西アジア	文化	300
<b>大問 3</b>					
2013	露仏関係の変遷	近代	欧州	政治	300
2012	北米と南米の植民地の独立と支配体制	近代	北米・中南米	政治・社会	300

# 京都大学

	問題テーマ	時代	地域	分野	字数
2011	1920年代アメリカ合衆国外交	近代・現代	北米	政治	300
2010	古代から中世のヨーロッパ軍事制度	古代・中世	欧州	政治・社会	300
2009	「新大陸」発見が世界に与えた影響	近世	欧州・北米・中南米	政治・社会・文化	300
2008	アテネの民主政	古代	欧州	政治・社会	300
2007	多極化の諸相	現代	全地域	政治	300
2006	古代末から中世初期の地中海世界	古代・中世	欧州	政治	300
2005	大西洋革命と英仏関係	近世・近代	欧州	政治	300
2004	ドミナートゥス制とキリスト教	古代	欧州	政治・文化	300
2003	第一次大戦中のイギリス植民地外交	現代	欧州・西アジア・南アジア	政治	300
2002	17世紀のオランダ, イギリス関係	近世	欧州	政治・経済	300
2001	近代奴隷制度	近代	欧州・北米・中南米	社会・経済	300
2000	ローマ帝国と地中海世界	古代	欧州	社会・経済・文化	300
1999	独仏関係の変遷	近代・現代	欧州	政治・経済	300
1998	ファシズム体制の成立	現代	欧州	政治・社会・経済	300
1997	a 各時代の都市の特徴	古代・中世	欧州・西アジア	社会・経済	200
1997	b 仏第四共和政と第五共和政の植民地政策	現代	欧州	政治	200
1996	a ローマ帝国におけるキリスト教の発展	古代	欧州	政治・文化	200
1996	b イギリスとフランスの重商主義	近世	欧州	政治・経済	200
1995	a 中世ヨーロッパの遠隔地商業	中世	欧州	経済	200
1995	b イギリス連邦	現代	欧州	政治	200
1994	a ポリスの衰退	古代	欧州	政治・社会・経済	150
1994	b 啓蒙専制主義	近世	欧州	政治・社会	200
1993	a モンロー宣言	近代	欧州・北米・中南米	政治	150
1993	b ヴェルサイユ体制とワシントン体制	現代	欧州・北米・東アジア	政治	200
1992	ギリシア文化の普及	古代	欧州・東・西・南アジア	文化(宗教含む)	180
1992	ロシアにおけるビザンツ帝国の影響	中世	欧州	社会・文化	150
1992	ロシアにおけるビザンツ帝国の影響	中世	欧州	社会・文化	120
1991	中世ドイツの国家発展の特徴	中世	欧州	政治・社会・文化	150
1991	米西戦争の影響	近代	北米	政治・経済	150

	問題テーマ	時代	地域	分野	字数
1990	a イエズス会の活動	近世	欧州・東アジア	社会・文化	150
1990	b 南北戦争の背景	近代	北米	政治・社会・経済	150
1990	c 日露戦争とヨーロッパ列強の関係	近代	欧州	政治	150
1989	a アテネの政治経済	古代	欧州	政治・経済	100
1989	b ローマの元首政	古代	欧州	政治	80
1989	c 東ローマ帝国文化の特徴	古代	欧州	文化	120

## 大問 4

2008	3 アウクスブルクの宗教和議	近世	欧州	政治・文化	50
2007	16 合衆国憲法にみえる連邦統治機構	近代	北米	社会・経済	30
2007	3 ラティフンディアとコロナトゥス	古代	欧州	社会・経済	40
1998	ウェストファリア条約の内容	近世	欧州	政治	120
1989	国民議会の成立	近代	欧州	政治	60

# 京都大学 2013 1

問題 中世

西アジア

## ウンマの成立と正統カリフ時代の変化

19世紀以来、イスラーム世界の改革を目指した様々な運動、なかでも「イスラーム復興主義」と呼ばれる立場において、しばしばムスリムが立ち戻るべき理想的な社会とみなされたのが、預言者ムハンマドの時代およびそれに続く「正統カリフ時代」のウンマ（イスラーム共同体）であった。しかし実際には661年にウマイヤ朝が成立するまでの間、様々な出来事を経てウンマのあり方は大きく変化した。ウンマ成立の経緯および「正統カリフ時代」にウンマに生じた主要な政治的事件とその結果について、以下のキーワードをすべて用いて300字以内で説明せよ。解答は所定の解答欄に記入せよ。句読点も字数に含めよ。

ヒジュラ カリフ シーア派

### 解答例

イスラーム教を創始したムハンマドはメッカで迫害を受け、信徒とともにメディナに移住するヒジュラを行い、ムハンマドが宗教的・政治的権限を持つウンマが成立した。ムハンマド死後、信徒は後継者として政治的権限を持つカリフを選出した。正統カリフ時代にはカリフの指導のもとジハードによってイランやエジプトを征服し、異民族を支配下においた。しかし土地や富の分配をめぐる争いが激化し、第4代カリフのアリーが暗殺されると、シリア総督ムアーウィヤがカリフを名乗り、ウマイヤ朝を開いてカリフの世襲が始まった。反発する人々はアリーの子孫のみを指導者と認めるシーア派を形成し、多数派のスナ派と対立するようになった。

# 京都大学 2012 1

問題 古代

東アジア

## 魏晋南北朝時代の仏教・道教

中国の「三教」、すなわち儒教・仏教・道教のうち、仏教・道教は大衆にも広く浸透し、中国社会を変容させてきた。仏教・道教が中国に普及し始めた魏晋南北朝時代における仏教・道教の発展、および両者が当時の中国の政治・社会・文化に与えた影響について、300字以内で説明せよ。句読点も字数に含めよ。

### 解答例

華北を中心に仏図澄・鳩摩羅什ら西域僧の来朝が相次ぎ布教が進むと、漢人の出家が認められ、法顕をはじめとする求法僧が増加した。華北の鳩摩羅什のほか江南の僧も仏典の漢訳を進め、僧が指導する様々な結社が生まれ、仏寺・仏像が多く作られた。一方、道教はこの時期、仏教の影響を受けて、民間信仰や老荘思想・神仙思想などを取り入れ成立し、北魏の寇謙之が道教教団を組織した。現世利益的な特徴から庶民に普及し、不老長生を求めたことから医学・薬学などの発展を促した。寇謙之を重用した太武帝は、道教を国教として仏教を弾圧した。しかし、北朝の皇帝はおおむね鎮護国家の役割を期待して仏教を保護し、雲崗・竜門石窟などの造営を進めた。(300字)

## 京都大学 2011 1

**問題** 古代・中世

東アジア

### 中国の経済的中心の移動

4世紀から12世紀にかけて、長江下流地域（江南地方）における開発が進み、中国経済の中心は華北地方からこの地域に移動した。この過程を、300字以内で説明せよ。解答は所定の解答欄に記入せよ。句読点も字数に含めよ。

### 解答例

4世紀に西晋が滅亡し、晋の一族が江南の建康で東晋を建てると、五胡十六国時代の混乱を避けた多くの漢人が華北から江南に移住し、南朝期にかけて水田造成など開発を進めた。中国を統一した隋が大運河を完成させ、政治・経済の中心である華北と開発が進む江南を結ぶと、江南への移住と開発が一層進展した。北宋末から墾田などの新田開発や成長が早い占城稲の普及が進み、華北が金に奪われ江南に南宋が成立して華北から大量の人口が流入すると、江南の開発が著しく進展し「蘇湖熟すれば天下足る」といわれる穀倉地帯となった。また茶など商品作物が栽培され、商業・海上交易が発達し、杭州など大都市が繁栄して江南地方が中国経済の中心となった。

## 京都大学 2010 1

**問題** 現代

東アジア

### 中国共産党

中国共産党について、その結成から中華人民共和国建国にいたる歴史を、中国国民党との関係を含めて、300字以内で説明せよ。解答は所定の解答欄に記入せよ。句読点も字数に含めよ。

### 解答例

中国共産党はコミンテルンの中国支部として1921年に結成された。その後中国国民党と第一次国共合作を行い、軍閥打倒を目指す北伐をともに始めた。上海クーデタを機に合作が決裂すると、農村工作を行い、紅軍を組織し、1931年に瑞金で毛沢東を主席とする中華ソヴィエト共和国臨時政府を樹立した。しかし国民党の攻撃を受けて長征を開始し、その途上に八・一宣言を発表して内戦の停止と抗日民族統一戦線の樹立を訴えた。西安事件で内戦を停止した後、日中戦争が勃発すると、国民党と第二次国共合作を行って抗日戦を展開したが、戦後、国共内戦が再開すると、土地改革で農民の支持を集めて勝利し、1949年中華人民共和国を建国した。

## 京都大学 2009 1

**問題** 近代・現代

南アジア

### インド民族運動の宗教対立とイギリス

19世紀末からのインド亜大陸における民族運動は、ヒンドゥー教徒とイスラム教徒の対立、およびこれを煽るイギリスの政策によって、しばしば困難な局面を迎えた。インド亜大陸の民族運動におけるヒンドゥー教徒とイスラム教徒の関係や立場の違い、およびこれをめぐるイギリスの政策について、1947年の分離・独立までの変遷を300字以内で説明せよ。解答は所定の解答欄に記入せよ。句読点も字数に含めよ。

#### 解答例

ヒンドゥー教徒中心のインド国民会議派は当初親英的だったが、イギリスがベンガル分割令を発すると、カルカッタ大会で反英運動を激化させた。そこで、イギリスは両教徒を分断するため、イスラーム教徒に親英的な全インド=ムスリム連盟を結成させた。第一次世界大戦後、イギリスが自治の約束を無視してローラット法を制定すると、国民会議派のガンディーが非暴力・不服従運動を始めた。イスラーム教徒は一時これに協力したが、後に反国民会議派・親英路線に転換した。第二次世界大戦後、イギリスはインドの独立を承認したが、ムスリム連盟が分離を求めたため、イスラーム教徒中心のパキスタンとヒンドゥー教徒中心のインド連邦に分離・独立した。

## 京都大学 2008 1

**問題** 中世・近世

東アジア

### 士大夫が基盤とした土地制度・文化

宋代以降の中国において、様々な分野で指導的な役割を果たすようになるのは士大夫と呼ばれる社会層である。彼らはいかなる点で新しい存在であったのか。これについて、彼らを生みだすにいたった新しい土地制度と、彼らが担うことになる新しい学術にも必ず言及し、これらをそれ以前のものとは対比しつつ300字以内で述べよ。解答は所定の解答欄に記入せよ。句読点も字数に含めよ。

#### 解答例

安史の乱を機に均田制が崩壊するなか、両税法で土地の私有が事実上認められると、小作人の佃戸に土地を貸与し地代を徴収する荘園を経営する新興地主が台頭した。彼らは宋代に科挙を通じ、士大夫と呼ばれる科挙官僚とその予備軍の中核となった。旧来の支配層であった門閥貴族が世襲的で科挙に左右されず、皇帝に対抗しうる存在だったの対し、士大夫は地位が世襲されず、科挙に合格して皇帝に従うことで立場が保障されたため、皇帝独裁体制を支える基盤となった。儒学では經典の字義の解釈を重んじる訓詁学に代わって、宇宙の本質を求める宋学が起り、君臣関係をただす大義名分論が盛んとなり、北方民族の台頭を受けて華夷の別も強調された。

## 京都大学 2007 1

**問題** 古代・中世・近世

東アジア

### 中国王朝の北方民族対策

中国の歴代王朝は北方民族の勢力に悩まされ続けてきた。自らの軍事力のみでは北方民族に対抗できなかったの  
で、さまざまな懐柔策や外交政策を用いて関係の安定を図ってきた。歴代の王朝が用いた懐柔策や外交政策につい  
て、紀元前2世紀から16世紀に至るまで、できるだけ多くの事例を挙げて300字以内で説明せよ。解答は所定の解  
答欄に記入せよ。句読点も字数に含めよ。

### 解答例

前漢は当初、匈奴に対して婚姻など和親策をとったが、武帝期から積極策に転じ、西域諸  
国と提携をはかるため張騫を大月氏に派遣し、後漢は班超を西域都護に任じた。唐は突厥  
を服属させて都護府をおき、羈縻政策をとって間接統治したが、ウイグルが台頭すると絹  
馬貿易で懐柔した。北方民族の圧力が高まった北宋では契丹の遼と澶淵の盟を、タンゲー  
トの西夏と慶暦の和約を結び、歳幣を送って平和を結んだ。南宋は女真の金に臣下の礼を  
とり、歳幣を送って平和を維持した。明は冊封体制を整備し、朝貢貿易を交易の中心とす  
る秩序を再建しようとしたが、15世紀にオイラトの、16世紀にタタールの侵入が激化する  
と、和議を結んで交易場を設置した。

## 京都大学 2006 1

**問題** 現代

西アジア

### 中東諸国の独立

16世紀以来オスマン帝国領であった中東アラブ地域のうち、エジプトやクウェートは19世紀末までに英国の保護下  
に置かれ、第一次世界大戦後、残りの地域も英仏両国によって委任統治領として分割された。やがて諸国家が旧宗  
主国の勢力下に独立し、ついにはその勢力圏から完全に離脱するに至った。1910年代から1950年代までの、この  
分割・独立・離脱の主要な経緯について300字以内で述べよ。解答は所定の解答欄に記入せよ。句読点も字数に含  
めよ。

### 解答例

第一次世界大戦中のサイクス・ピコ協定に基づき、戦後のセーヴル条約でイラク・ヨルダ  
ン・パレスチナはイギリスの、レバノン・シリアはフランスの委任統治領となった。戦間  
期にイラク・ヨルダンとエジプトはイギリス保護下の王国として独立し、第二次世界大戦  
を機にシリア・レバノンも独立した。1948年イギリスの委任統治が終了したパレスチナに  
は国連分割決議に基づきイスラエルが建国された。これに反発してアラブ諸国の自立が進  
み、エジプトは1951年にスエズ駐兵を認めたイギリスとの同盟条約を破棄し、1956年の  
スエズ運河国有化宣言からスエズ戦争を経てイギリス圏から離脱した。イラクも1958年の  
共和革命で中東条約機構から脱退し離脱した。(300字)

# 京都大学 2005 1

問題 近代・現代

東アジア

## 日中関係

中国近代史において日中関係は大きな比重を占めるようになる。1911年の辛亥革命から1937年の日中戦争開始までの時期における、日本と中国の関係について、300字以内で述べよ。解答は所定の解答欄に記入せよ。句読点も字数に含めよ。

## 解答例

辛亥革命で成立した袁世凱政権に対し、第一次世界大戦に参戦して膠州湾を占領した日本は山東権益などを要求する二十一カ条を受諾させた。パリ講和会議で中国の二十一カ条破棄要求が拒否されると五・四運動の民族運動が高揚し、ワシントン会議の九カ国条約で日本の進出が抑制された。日本が支持する奉天派の軍閥政権打倒のため国民党が北伐を行うと、日本は山東出兵で阻止を図り、続いて張作霖爆殺で東北地方占領を狙ったが失敗した。その後国共内戦に乗じた日本は柳条湖事件から満州事変を起こして満州国を建国し、華北進出を図ったが、西安事件を機に国民党と共産党は和解し、盧溝橋事件による日中戦争勃発を機に抗日民族統一戦線を成立させた。

# 京都大学 2004 1

問題 中世・近世

東アジア・西アジア

## 遊牧国家とイスラーム

セルジューク朝、モンゴル帝国、オスマン朝は、ともにトルコ系ないしモンゴル系の軍事集団が中核となって形成された国家であり、かつ事情と程度は異なるものの、いずれも西アジアおよびイスラームと深くかかわった。この3つの政権それぞれのイスラームに対する姿勢や対応のあり方について、相互の違いに注意しつつ300字以内で述べよ。解答は所定の解答欄に記入せよ。句読点も字数に含めよ。

## 解答例

ブワイフ朝を滅ぼしたセルジューク朝は、アッバース朝カリフの権威を認める一方、スルタンの称号と政治の実権を得て政教分離体制を確立した。またシーア派のファーティマ朝に対抗し、ニザーミヤ学院を建設してスンニ派教学を振興した。モンゴル帝国のフラグはアッバース朝を滅ぼしイル＝ハン国を建設したが、イスラーム化が進み、ガザン＝ハン時にイスラーム教を国教としてイラン＝イスラーム文化が発展した。オスマン帝国はシーア派のサファヴィー朝と対抗し、スンニ派の盟主の意識を強め、マムルーク朝を滅ぼしてメッカとメディナの聖地を管理し、カリフ政治の後継者となった。内政でもウラマーを地方行政に組み込むなど諸制度を整備した。



## 京都大学 2003 1

問題 古代・中世・近世

東アジア

### 中国の君主独裁体制

中国の皇帝独裁（君主独裁）は、宋代、明代、清代と時代を経るにしたがって強化された。皇帝独裁制の強化をもたらした政治制度の改変について、各王朝名を明示しつつ300字以内で述べよ。句読点も字数に含めよ。

#### 解答例

宋代には文治主義がとられ、節度使の欠員に文官を補充し、禁軍を強化して中央集権体制構築を図った。また、科挙の最終試験として皇帝自ら行う殿試が導入され、官僚との結合を強化して皇帝独裁体制を築いた。明代には洪武帝が中書省を廃止して宰相職を廃止し、六部を直轄して皇帝親政体制をとるとともに、枢密院を廃して皇帝直属の五軍都督府を設置して軍も直轄し、監察も皇帝の直轄として三権を皇帝に集中させた。永楽帝の時には政務を補佐する内閣大学士が置かれ、次第に宰相化した。清は明の官制を基本的に継承したが、雍正帝時に軍の統轄のために設置した軍機処が、皇帝の諮問機関として行政の最高機関を兼務するようになった。

## 京都大学 2002 1

問題 中世

東アジア

### 唐代の周辺諸国の興亡

隋を受け継いで大帝国を樹立した唐は、近隣の諸国や諸民族に大きな影響を与えた。唐の文化を受容し、あるいは唐と政治的関わりをもったモンゴル高原、チベット、雲南地方の諸国や諸民族の7世紀から9世紀にかけての興亡について、300字以内で述べよ。句読点も字数に含めよ。

#### 解答例

モンゴル高原ではトルコ系の東突厥が覇権を唱えていたが、唐は7世紀初にこれを服属させ、都護府を設置して羈縻政策の間接統治を行った。その後東突厥は再び独立したが、8世紀にはトルコ系ウイグルに滅ぼされた。ウイグルは安史の乱鎮圧で唐を支援し、東西交易路を支配して繁栄したが、9世紀にはトルコ系のキルギスに滅ぼされ、その一部は天山方面へ移動した。チベットでは7世紀に唐文化とインド文化双方を取り入れ吐蕃が成立した。吐蕃は安史の乱に際して一時長安を占領し、その後唐と唐蕃会盟を結んだ。雲南地方では、唐の律令体制と漢字や仏教文化を取り入れてチベット・ビルマ系の南詔が成立し、唐の冊封を受けた。

# 京都大学 2001 1

## 問題 中世

## 欧州・西アジア・南アジア

### イスラム文化の影響

9世紀以降、バグダードやコルドバを中心に急速に発達したイスラム文化は、その後も発展を重ね、世界の文化の進展に様々な影響を及ぼした。

このイスラム文化について、次の4点に注意しつつ、300字以内で述べよ。また、句読点も字数に含めよ。

1. 発達・発展の過程。どのような過程を経て発達・発展したか。
2. 内容と特徴。どのような分野が優れ、どのような特徴を持っていたか。
3. 担い手。どのような人々を中心に発達したか。
4. 他文化への伝播・影響。何をどこに伝え、どのような影響を及ぼしたか。

### 解答例

ビザンツ帝国から古典古代文化を、ササン朝からペルシア文化やインド文化を継承し発展させるとともに、イスラム教とアラビア語を基盤とする文化を発展させた。前者は外来の学問と呼ばれ、哲学・数学・自然科学が中心であり、ギリシア哲学の注釈が盛んで数学ではインドから零の概念やアラビア数字を受容した。後者は固有の学問と呼ばれコーランの解釈にかかわる法学や神学、歴史学なども発達した。担い手は法学者のウラマーが中心で、ウラマーを養成するマドラサなど諸設備は富裕な都市商人がワクフとして準備した。アリストテレス研究は中世西欧のスコラ哲学の発展に影響し、医学・数学・自然科学はヨーロッパの近代科学の発展を促した。☒☒

# 京都大学 2000 1

## 問題 古代

## 東アジア

### 2世紀末～3世紀末の中国

中国では2世紀末以降、群雄割拠の時代となる。以後、統一に至るおよそ100年の歴史について、政治・社会・文化の三つの側面から、300字以内で述べよ。句読点も字数に含めよ。(20点)

### 解答例

184年に起きた農民反乱の黄巾の乱を契機に統治力を失った後漢は、群雄の一つの魏によって滅ぼされ、魏・呉・蜀が互いに争う三国時代になった。やがて魏は蜀を滅ぼしたが、まもなく魏にとってかわった晋が280年に呉を滅ぼして中国を統一した。この間に豪族が各地で力を強め、魏の創始した九品官人法を通じて上級官僚を独占し、門閥貴族層を形成するようになった。この豪族による大土地所有の拡大や土地を失った農民の増加に対応するため、魏は屯田制を行った。このような社会的混乱のなかで儒学は振るわず、かわって老荘思想が流行し、世俗を超越した清談の風が生まれた。また、後の道教の源流となる太平道・五斗米道などが民間の信仰を集めた。(300字)

## 京都大学 1999 1

問題 近代・現代

西アジア

### トルコの近代化

19世紀になると、アジア諸地域では、ヨーロッパ列強の進出に対抗する抵抗運動が展開された。また同時に、近代化をはかって自らを変革する試みも見られた。19世紀半ばのオスマン帝国期から第一次世界大戦後のトルコ共和国期に至るトルコの近代化の動きについて、政体の変化を中心に300字以内で述べよ。句読点も字数に含めよ。(20点)

### 解答例

19世紀半ばオスマン帝国は専制体制の維持を前提に近代化を図るタンジマートを推進したが、クリミア戦争を機に外債が導入され、1875年に財政が破綻した。そのため1876年にミドハト憲法が制定され立憲君主政に移行したが、翌年勃発した露土戦争を口実に専制体制が復活した。1908年に日露戦争の影響を受け憲法復活を求める若手将校を中心に青年トルコ革命が起こり、立憲君主政となったが、やがて軍部独裁体制に移行し、第一次世界大戦は同盟国側に参戦して敗北した。戦後スルタン・カリフ政権による亡国的なセーブル条約受諾に対し、ケマル・パシャを中心としたアンカラ臨時政府がこれを拒絶し、トルコ革命によって共和政のトルコ共和国を樹立した。(300字)

## 京都大学 1998 1

問題 古代・中世・近世・近代

東アジア

### 中国の官吏登用制度

紀元前から官僚機構を完備させた中国では、官吏登用制度が各王朝の政治・社会や文化に大きな影響を与えた。紀元前後から20世紀初めまでの官吏登用制度の変遷について、300字以内で述べよ。句読点も字数に含めよ。

### 解答例

前漢の武帝は地方官に有徳者を推薦させる郷挙里選を行い、魏の文帝は中央任命の中正官に人材を推薦させる九品中正を始めた。こうした推薦による官吏登用制度は、豪族の官僚化や門閥貴族の形成を促す結果となり、特に六朝時代には貴族が政治・社会・文化の上で大きく活躍した。そこで隋の文帝は試験による科挙を始めて広く人材を求めようとし、唐もこれを継承した。宋では科挙の最終段階に皇帝自ら試験を行う殿試が加えられ、君主独裁制が強化された。この科挙は元で一時中断されたものの、以後明清まで継承され、政治・社会的支配層であり伝統文化の担い手である士大夫層を生み出し続けた。しかし清末の改革の一環として科挙は1905年廃止された。(300字)

## 京都大学 1997 1

**問題** 現代

東アジア

### 五四運動と天安門事件

五四運動期に起こった文化運動について、清代に流行した学術と1989年の天安門事件とを視野におさめ、300字以内で述べよ。句読点も字数に含めよ。

#### 解答例

清代には古典文献の実証的考証を重視する考証学が流行したが、当初の社会改革の実践を目指す経世致用の学風は、清朝の思想弾圧によって薄れた。清末には公羊学が、孔子を大同社会建設を目指す思想家として儒学の革新を図り、立憲君主制を目指す変法運動を支えた。それに対し五四運動期の新文化運動は、伝統的な儒教道徳を否定し、西欧の「民主と科学」の導入を唱え、口語を用いる白話運動を展開することで近代化を実現しようとした。清代の学術も新文化運動も社会改革を志向した点で共通するが、新文化運動は北京大学を中心として学生たちに影響を与え、五四運動を準備した点で、民主主義思想を学んだ学生たちがおこした天安門事件と共通する。

## 京都大学 1996 1

**問題** 中世

欧州・東・西・南アジア

### 東西世界の交流

6世紀から9世紀における東西世界の交流について、個人・民族、文物、宗教の3点から、具体的な事例を挙げて、300字以内で説明せよ。句読点も字数に含めよ。

#### 解答例

6世紀にササン朝と突厥がエフタルを挟撃して滅ぼすと、イランと東アジアを結ぶオアシスの道の交易路が突厥の一元的支配下で安定した。そのためサマルカンドに拠点を置くイラン系ソグド人が突厥、次いでウイグルの保護下に東西交易で活躍し、ガラス器や絨毯などのササン朝の文物が中国に伝わって唐文化に影響した。また、ゾロアスター教、マニ教、ネストリウス派もササン朝から伝来し、ササン朝滅亡後にはイスラーム教が伝わった。唐からは玄奘がオアシスの道を介してヴァルダナ朝期のインドに赴き仏典を持ち帰った。一方、海の道の交易も活発化し、イラン人やアラブ人のムスリム商人が中国に来航した。義浄は海の道を介してインドに往来した。

## 京都大学 1995 1

問題 近世

東アジア

### 明の対モンゴル政策

中国北方の遊牧民モンゴルは、明朝にとり最も警戒すべき外敵であった。明朝がモンゴルに対して行った軍事行動・防衛政策を、時代の変遷に即して、300字以内で述べよ。句読点も字数に含めよ。

#### 解答例

明を建国した洪武帝は、モンゴル高原に退いた北元を攻撃してこれを滅ぼした。三代永楽帝は15世紀初頭にモンゴル高原に5回親征し、万里の長城の修築にも着手した。しかし15世紀半ばには西北モンゴルのオイラート部がエセン=ハンのもとで台頭し、交易の拡大を求め明に侵攻して、土木の変で正統帝を捕虜とした。以後明は守勢に転じ、万里の長城を増築して防備に努めたが、16世紀に北元の末裔であるタタール部がダヤン=ハンのもとで再建されると、その孫であるアルタン=ハンによって北京を包囲されるなど劣勢となった。明はこれを同時期の後期倭寇とともに北虜・南倭と称して対応に苦慮し、交易の拡大を約してようやく和した。☒☒

## 京都大学 1994 1

問題 古代

東アジア

### 五胡十六国から南北朝

4世紀から5世紀中葉にいたる時期は、中国史上まれにみる大分裂時代であった。この時代の特色を、民族・地域・宗教文化の3つの側面から、300字以内で述べよ。句読点も字数に含めよ。(20点)

#### 解答例

316年に西晋が、華北への五胡の侵入と建国の動きの中で滅亡し、317年に西晋の一族が江南に東晋を建国したことで、中国は南北に分裂した。北では五胡十六国の時代となって北方民族の流入が続き、彼らは漢民族に同化していったが、文化は胡漢が融合した国際的で実用的なものとなった。宗教では仏図澄や鳩摩羅什の西域僧が伝えた仏教が流行し、寇謙之によって確立した道教も国家の保護を受けて発展した。江南では華北の戦乱を避けて漢民族の流入が続き、先住民を同化し、江南地方を中心に漢化が進んだ。荘園を開発した門閥貴族が担い手となって、書画や詩など貴族文化が発展する一方、乱世の不安から道家思想や仏教思想が流行した。

## 京都大学 1993 1

問題 中世

西アジア

### イスラムの中世

10～11世紀は、西アジアにおけるイスラム世界の歴史の展開の中で、1つの大きな転換期であったと考えられる。このように考えられる理由を、政治・社会・宗教の3つの側面から、300字以内で具体的に説明せよ。

#### 解答例

政治では10世紀にファーティマ朝と後ウマイヤ朝が相次いでカリフを称して三カリフ鼎立となり、アッバース朝カリフの権威が低下した。また各地にイラン人やトルコ人の政権が出現し、アッバース朝の分裂が進んだ。特にイラン系のブワイフ朝はバグダードに侵攻してカリフの実権を奪った。11世紀にはトルコ系のセルジューク朝がブワイフ朝を倒してスルタンの称号を得、政治権力を委譲されたためカリフ位は統合の象徴となった。社会では軍人に俸給に代わって徴税権を保証するイクター制が普及し、また奴隷身分のマムルーク軍人が増大した。宗教ではイスラム教の形式主義が批判され、神との合一を目指す神秘主義のスーフィズムが盛んとなった。

## 京都大学 1992 1

問題 近代

東アジア

### 戊戌の変法

アヘン戦争における敗北と太平天国による動乱を経た清朝では、さまざまな近代化政策を採らざるをえなくなった。この動きのなかで、戊戌の変法はどのような位置を占めているのか、日露戦争の前後までを視野におさめ、300字以内で述べよ。

#### 解答例

変法運動以前に展開された洋務運動は李鴻章らを中心に軍事面を中心にした工業化政策で富国強兵を目指したが、「中体西用」の言葉通り伝統的な儒学理念に基づき体制変革を伴わず、日清戦争の敗北でその限界が明らかになった。それに対し公羊学による儒学の革新を思想的基盤にした康有為らの変法運動は「変法自強」を掲げて明治維新に範をとった立憲君主政の樹立を目的に戊戌の変法の改革にとりくんだが、科挙廃止などに反対した保守派の戊戌の政変によって挫折した。義和団事件で列強に敗北した清朝は、日露戦争の日本の勝利に刺激されて科挙廃止など変法運動がめざした改革に着手したが、孫文たち革命派の台頭で、改革は遅きに失した。

## 京都大学 1991 1

問題 古代

東アジア

### 春秋戦国時代の社会変化

春秋・戦国時代の中国において、鉄器の出現がもたらした経済的・社会的変化を300字以内で述べよ。

#### 解答例

鉄器は農具として用いられ、牛耕農法の普及と相まって農業生産力を増大させ、家族単位の農業経営を可能とした。また、戦乱の時代を背景に諸国が富国強兵策で開墾事業を行ったが、新開地には家族単位での移住が行われた。その結果、従来の邑社会の基盤であった氏族共同体は解体し、耕地面積の拡大もあって大土地所有者も出現した。農業の発展は商工業の発展をもたらし、青銅貨幣が流通し、大商人も出現した。そのため世襲身分制度や氏族制度など血縁に基づく従来の封建秩序は動揺し、実力万能の風潮が一般化する中で思想界も活況を呈して諸子百家が出現した。さらに人口も増大して周辺地域の開発や征服が進み、中国文化圏が拡大していった。

## 京都大学 1990 1

問題 古代・中世

東アジア

### 唐から宋への時代の変化

唐から宋への時代の変化を、政治・軍事制度の側面から具体的に300字以内で述べよ。

#### 解答例

唐代の後半は募兵権を持つ節度使が、財政権と行政権も握って各地に割拠する藩鎮となり、唐末五代の時代は、軍事力を背景に彼らが覇を競う武断政治の混乱期となった。宋は、皇帝直属軍である禁軍を強化する一方、節度使の世襲を禁じて欠員には文官を補充することで節度使の力を抑え、集権化を図った。この間に貴族層が没落し、新興地主の形勢戸が台頭したが、宋は文治主義をとり、科挙合格者の家を官戸として役を減免したため、形勢戸は科挙受験を目指す士大夫層の中核となって宋の統治体制を支える基盤となった。さらに、最終試験に皇帝による殿試を導入し、官僚と皇帝の結びつきを強化して、君主独裁の官僚体制を構築した。

モンゴル帝国時代の東西文化交流

モンゴル帝国時代における東西文化の交流について、300字以内で述べよ。

解答例

モンゴル帝国は交易を重視し、草原の道とオアシスの道の安全を確保し駅伝制を整備した。海の道にも進出し、海運の整備や運河の改築も行った。そのため各地域の人と文化の交流も盛んとなった。ヨーロッパでは中国で発明された活版印刷術・羅針盤・火薬がイスラーム世界を経て伝来し、ルネサンスの三大発明の基礎を築いた。イラン地方では元からイル=ハン国に伝わった中国の絵画が、細密画に影響を与えた。中国ではイラン地方のコバルト顔料で染付磁器が作成された。イスラーム教も広がり、イスラームの天文学や数学も紹介され、その影響を受けて郭守敬が授時暦を作成した。西欧世界からはモンテ=コルヴィノが大都を訪れ、カトリックを布教した。(300字)

露仏関係の変遷

フランス革命以降、フランスとロシアはしばしば敵対関係におちいったが、第一次世界大戦では両国は連合国の主力として、ドイツを中核とする同盟国と戦うことになる。ウィーン会議から露仏同盟成立に至るまでのフランスとロシアの関係の変遷について、300字以内で説明せよ。解答は所定の解答欄に記入せよ。句読点も字数に含めよ。

解答例

ウィーン会議では、フランスとロシアはナポレオン戦争の対立を解消し、フランスは正統主義を唱え、ロシアは神聖同盟を提唱した。両国は神聖同盟や五国同盟に参加してウィーン体制を支えた。ところが東方問題が起きると、エジプト事件で両国は対立した。さらにフランスが聖地管理権を得ると、ロシアはギリシア正教徒の保護を口実にクリミア戦争を起こし、フランスはトルコ側で参戦した。ドイツ帝国の成立後、宰相ビスマルクがフランスの孤立化を図る中、イギリスと対立したロシアはドイツに接近し、三帝同盟や再保障条約を結んだ。しかしビスマルク引退後、ドイツが再保障条約の更新を拒否すると、ロシアとフランスは接近し、露仏同盟が成立した。



北米と南米の植民地の独立と支配体制

16世紀から17世紀にかけて、南北アメリカ大陸には、スペイン、ポルトガル、オランダ、フランス、イギリスがそれぞれ植民地を建設したが、18世紀後半以降、これらの諸国とアメリカ大陸の植民地との関係は大きく変化しはじめる。18世紀後半から19世紀前半にかけて、北米のイギリス領13植民地と南米のスペイン領植民地で生じた変化、および、その結果成立した支配体制の特徴について、300字以内で説明せよ。解答は所定の解答欄に記入せよ。句読点も字数に含めよ。

解答例

北米では七年戦争でフランスに勝利したイギリスが、財政難から重商主義政策を強化したため独立戦争が勃発した。フランス・スペイン・オランダが植民地側で参戦し、ポルトガルも武装中立同盟で支援したため、アメリカ合衆国は独立に成功した。その後の米英戦争で経済的自立も進んだ合衆国は、黒人奴隷や先住民を抑圧しつつ、白人の民主政治体制を確立していった。南米ではフランス革命などの影響下、現地生まれの白人クリオーリョらが独立運動を起こすと、イギリス以外の4カ国を含む神聖同盟は独立阻止を企画したが、植民地側をイギリスが支援して独立は成功した。しかしイギリスに経済的に従属し、大地主であるクリオーリョの寡頭支配が続いた。

1920年代アメリカ合衆国外交

アメリカ合衆国は、第一次世界大戦後のパリ講和会議で主導的な役割を演じながら、国際連盟に参加せず、再び政治的孤立主義に回帰したともいわれる。しかし実際には、アメリカは1920年代の政治的・経済的な国際秩序の形成に重要な役割を果たした。アメリカが関与することによって、どのような政治的・経済的な国際秩序が形成されたのか。1921年から1930年までの時期を対象に、具体的な国際的取り決めに触れながら、300字以内で説明せよ。

解答例

ワシントン会議を主催したアメリカは、四カ国条約で太平洋の現状維持、九カ国条約で中国の門戸開放、海軍軍備制限条約で主力艦の保有比を決め、ワシントン体制を主導した。ヨーロッパがドイツの賠償問題で混乱すると、債権国となっていたアメリカはドーズ案を作成して資本をドイツに導入した。この結果、資本の環流構造が成立し、国際経済は秩序と安定を回復した。さらに国際協調の気運も高まり、ロカルノ条約やドイツの国際連盟加盟によってヴェルサイユ体制も安定した。その後、国務長官ケロッグらの提唱で不戦条約が締結され国際協調は最高潮に達し、ヤング案でドイツの賠償額を減額し、ロンドン軍縮会議で補助艦の保有比も決めた。

古代から中世のヨーロッパ軍事制度

古代ギリシア・ローマと西洋中世における軍事制度について、政治的・社会的な背景や影響を含めて、それぞれの特徴と変化を300字以内で説明せよ。解答は所定の解答欄に記入せよ。句読点も字数に含めよ。

解答例

古代ギリシア・ローマでは、中小農民の平民が重装歩兵として台頭し、政治的発言力を強めて貴族と身分闘争を展開し、戦士が市民団を形成して政治を担う体制を樹立した。しかしローマでは、貧富の格差の拡大によって重装歩兵市民団が解体し、傭兵の使用から帝政へ以降した。西欧中世では、ノルマン人やマジャール人の侵入に地方有力者が対抗する中で、ゲルマンの従士制とローマの恩貸地制が結合し、中小領主に封土を授け、騎士として軍事奉仕を行わせる封建制が普及し、分権的社会が形成された。しかし、14世紀の危機の中で中小領主が没落し、火砲が普及すると、平民出身の傭兵による歩兵に軍の主力は移行し、国王による集権化が進んだ。

「新大陸」発見が世界に与えた影響

コロンブスおよびそれ以降の航海者の探検によって、大西洋の西、アジアとヨーロッパとの間にある陸地は大陸であることが証明された。この「新大陸」の発見の結果、新・旧両世界にひきおこされた直接の変化について300字以内で説明せよ。解答は所定の解答欄に記入せよ。句読点も字数に含めよ。なお解答には、下記の語をかならず使用し、用いた語句には下線をほどこせ。

先住民 産物

解答例

ヨーロッパ経済の中心が地中海から大西洋岸に移り、ヨーロッパ商業が世界的広がりを持つ商業革命が起きた。その結果、新大陸から大量の銀が流入し、価格革命と呼ばれる物価騰貴が起こって、西欧では固定地代に頼る封建領主が没落したが、商工業は発達した。そこで東欧ではグーツヘルシャフトが拡大し、西欧への輸出用穀物の生産が進んだ。またタバコなど新大陸の産物がヨーロッパに流入し、生活習慣に変化を与えた。一方、新大陸では先住民文化が破壊され、彼らはスペイン人の行うエンコミエンダ制のもと鉱山開発などに酷使された。疫病の流行もあり先住民人口が激減すると、アフリカから黒人奴隷が導入され、新大陸の民族構成は変化していった。(300字)

アテネの民主政

古代ギリシアの代表的なポリスであるアテネ（アテナイ）は、紀元前6世紀末からの約1世紀間に独自の民主政を築き、発展させ、さらにその混乱をも経験した。このアテネの民主政の歴史的展開について、その要点を300字以内で説明せよ。句読点も字数に含めよ。説明に当たっては、下記の2つの語句を適切な箇所です必ず一度は用い、用いた語句には下線を付せ

民会 衆愚政治

解答例

参政権をめぐる貴族と平民の対立が続いていたアテネでは、前6世紀末にクレイステネスが貴族勢力の温床であった血縁的4部族制を地域共同体に基づく10部族制に改変し、重装歩兵として従軍する社会層の平等を実現するとともに、軍務と参政権の対応関係を確認して民主政の基礎を築いた。その後のペルシア戦争で無産市民も三段櫓船の漕ぎ手として従軍することで発言力を増し、戦後のペリクレス時代には18歳以上の成年男子市民全員で構成される民会が最高機関となることで、民主政が完成した。しかし、前5世紀後半にペロポネソス戦争が勃発し、戦争初期にペリクレスが病死するとアテネの政治は混乱し、デマゴーグスが扇動する衆愚政治に陥った。

多極化の諸相

第二次世界大戦後の世界は、アメリカ合衆国とソヴィエト社会主義共和国連邦（ソ連）がそれぞれ資本主義圏と社会主義圏の盟主として激しく対立する、いわゆる二極化で幕が開いた。だが1950年代半ばになると二極構造に変化がきざし、1960年代以降、その変化は本格的なものになった。1960年代に世界各地で起きた多極化の諸相を、300字以内で具体的に説明せよ。解答は所定の解答欄に記入せよ。句読点も字数に含めよ。

解答例

社会主義圏では対米平和共存とスターリン批判をめぐるソ連と対立していた中国は、キューバ危機のソ連の対応を批判し中ソ論争を公然化させ、国境紛争にいたった。資本主義圏ではフランスのド・ゴールがヨーロッパ統合の進展を背景に自主外交を展開し、NATOの軍事機構から脱退した。中国とフランスは米ソの核管理に挑戦し、共に部分的核実験停止条約の調印を拒否した。アフリカでは多くの国が独立してアジア・アフリカの第三勢力も台頭し、ユーゴスラヴィアなどと共に非同盟路線を掲げ、非同盟諸国首脳会議を開催した。一方ソ連がチェコのプラハの春を弾圧し、アメリカがベトナム戦争を強行したことは、米ソ両国の威信の低下をもたらした。

## 京都大学 2006 3

問題 古代・中世

欧州

### 古代末から中世初期の地中海世界

ベルギーの歴史家アンリ・ピレンヌは、古代の統一的な地中海世界が商業交易に支えられて、8世紀まで存続したと考えた。しかしこの地中海をとりまく地域の政治状況は、8世紀以前、古代末期から中世初期にかけて大きく変化した。紀元4世紀から8世紀に至る地中海地域の政治的变化について、その統一と分裂に重点を置き、300字以内で説明せよ。解答は所定の解答欄に記入せよ。句読点も字数に含めよ。

### 解答例

4世紀末にローマ帝国が東西に分裂すると、ゲルマン人の移動が集中した西ローマ帝国は、5世紀末に滅亡し、その領域の各地にゲルマン人国家が分立した。6世紀になると、東ローマ帝国のユスティニアヌス程が地中海世界を再統一したものの、7世紀から8世紀にはイスラーム勢力が北アフリカからイベリア半島までを支配した。この間、ゲルマン世界で勢力を拡大したフランク王国は、トゥール・ポワティエ間の戦いでイスラーム勢力を退け、カール大帝の時には西ヨーロッパの主要部を統一した。そしてカールの戴冠によって東ローマ帝国から政教両面で自立すると、地中海世界は西ヨーロッパ世界・東ヨーロッパ世界・イスラーム世界に3分された。

## 京都大学 2005 3

問題 近世・近代

欧州

### 大西洋革命と英仏関係

18世紀後半から19世紀前半にかけて、大西洋をはさんでアメリカ大陸とヨーロッパの双方で戦争と革命があいついで勃発し、この間にヨーロッパ諸国間の関係は大きく変化した。七年戦争からナポレオン帝国の崩壊にいたる時期にイギリスとフランスの関係はどのように変化したか、300字以内で説明せよ。解答は所定の解答欄に記入せよ。句読点も字数に含めよ。

### 解答例

七年戦争中北米でのフレンチ=インディアン戦争では、イギリスが勝利した。アメリカ独立革命では、フランスはアメリカを支援してイギリスと戦った。フランス革命が激化し、国民公会がルイ16世を処刑すると、イギリスは中立政策を放棄して第1回対仏大同盟を提唱し、革命戦争に参戦した。総裁政府時にはフランスがエジプト遠征を行い、統領政府ではアミアンの和約で和平が実現したが、第一帝政成立を機にイギリスは第3回対仏大同盟を結成した。ナポレオンはイギリスとのトラファルガーの海戦に敗北したが、大陸封鎖令を発して対立を続けた。しかし、1815年にナポレオン帝国が崩壊すると、英仏両国はウィーン体制の下で協調関係に転換した。

ドミナトゥス制とキリスト教

4世紀のローマ帝国には、ヨーロッパの中世世界の形成にとって重要な意義を有したと考えられる事象が見られる。そうした事象を、とくに政治と宗教に焦点を当てて、300字以内で説明せよ。解答は所定の解答欄に記入せよ。句読点も字数に含めよ。

解答例

4世紀のローマ帝国は、皇帝権力の絶対化が進んで皇帝専制体制のドミナトゥス制に移行し、官僚による統治機構が整備された。これは、中世の東ローマ帝国に継承された。宗教面では、当初皇帝崇拝を拒否するキリスト教徒を迫害したが、コンスタンティヌス帝はキリスト教を帝権の神聖化に利用しようとし、ミラノ勅令でキリスト教を公認した後、ニケーア公会議でアタナシウス派を正統とした。さらにテオドシウス帝は、正統派以外の信仰を禁じてキリスト教を国教とした。そのためキリスト教会とローマ帝国が結合し、これは東ローマ帝国では皇帝が教権を支配下におく皇帝教皇制に、西ヨーロッパ世界では皇帝と教皇が並立する体制に継承された。

第一次大戦中のイギリス植民地外交

第一次世界大戦は予想をはるかに超えて長期化し、これにかかわったヨーロッパのおもな国々は本国の大衆を動員しただけではなく、さらには、植民地や保護国を抑えつけながらも、同時にその力を借りて戦わねばならなかった。このことに関して、イギリスを例にとり、インドおよびエジプトに対して大戦中にどのような政策がとられたかを、そのことが戦後に生み出した結果にも触れつつ、300字以内で説明せよ。句読点も字数に含めよ。

解答例

イギリスは大戦中にインドの民族運動を弾圧するインド防衛法を施行する一方、戦争協力獲得のため1917年に自治を約束した。国民会議派は、物資や人員の供出に協力したが、大戦後、州単位の部分的自治しか認めないインド統治法によって裏切られ、同時にインド防衛法を延長したローラット法が制定された。これに対し、国民会議派の指導者ガンディーは、非暴力非協力運動を開始し、民族運動に民衆を動員した。エジプトについては、第一次世界大戦中にオスマン帝国から独立させ、正式にイギリスの保護国としたが、大戦後のパリ講和会議にエジプトの民族主義者はエジプト代表としての出席を試み、彼らを中心に結成されたワフド党が独立運動を開始した。

## 京都大学 2002 3

問題 近世

欧州

### 17世紀のオランダ、イギリス関係

17世紀に入ってオランダ、イギリス両国は、いちじるしい対外発展を開始した。このことを背景として、以後17世紀末までの両国の関係について300字以内で説明せよ。句読点も字数に含めよ。(20点)

#### 解答例

イギリスとオランダは17世紀初頭に相次いで東インド会社を設立し、モルッカ諸島の香辛料貿易に進出した。しかしアンボイナ事件でオランダがイギリスを排除したため、両国の関係は悪化した。17世紀中葉には清教徒革命の共和政政府が、大英帝国内の中継貿易からオランダ商人を排除することを目的に航海法を制定し、第一次英蘭戦争となった。その後、オランダのニューネザーラント植民地をイギリスが占領したことなどから第二次、第三次と戦争が続いた。しかし、名誉革命でオランダ総督ウィレムがイギリス王ウィリアム3世を兼ねると、両国は協力してフランスに対抗し、オランダの金融業者がロンドンに進出してイギリス金融業の発展を促した。(297字)

## 京都大学 2001 3

問題 近代

欧州・北米・中南米

### 近代奴隷制度

16世紀から19世紀前半にかけてヨーロッパが海外に膨張していく過程で、新しい性格を持った奴隷制が広がっていった。近代奴隷制と呼ばれるものである。この奴隷制の拡大に関わった国々を明示しつつ近代奴隷制度の特徴と展開過程を300字以内で説明せよ。また、句読点も字数に含めよ。

#### 解答例

近代奴隷制度は黒人奴隷を商品作物生産のプランテーション労働力とするものであり、その普及地域をモノカルチャー構造の従属経済地域とした。まずポルトガルがアフリカ諸国と奴隷貿易を開始し、ブラジルなどの農場で奴隷制を拡大した。先住民人口が激減したスペイン植民地へは、17世紀にオランダが、18世紀にイギリスが奴隷を供給した。17世紀後半以降は英仏両国が工業製品をアフリカへ、黒人奴隷を西インド諸島に確保した植民地の農場へ、砂糖などをヨーロッパへと運ぶ大西洋三角貿易で奴隷制度を拡大した。19世紀前半に英仏両国は奴隷制を廃止していくが、イギリス綿工業向けの綿花栽培が発展した合衆国南部では、かえって奴隷制度が拡大した。

## 京都大学 2000 3

問題 古代

欧州

### ローマ帝国と地中海世界

アウグストゥスが元首政を創始してから200年余りは「ローマの平和」の時代と呼ばれ、ローマ帝国が安定と繁栄を享受したことで知られる。この時代に、ひとつの統一的な世界としての「地中海世界」が出来上がったと考えることができる。そのように解釈できる具体的な理由を、ローマ人のイタリア外での活動や市民団の変化に注目しつつ、300字以内で説明せよ。句読点も字数に含めよ。(20点)

### 解答例

ローマ人は軍人や商人としてイタリア外に建設されたローマ風都市に居住し、活動した。ローマは地中海沿岸地域や内陸の河川沿いに属州支配の拠点としてローマ風都市を建設し、都市を結ぶ道路網も整備して軍事的に地中海世界を統一した。都市は地中海各地を結ぶ交易網の拠点となり、地中海世界の経済的統一も進んだ。都市はラテン語やローマ文化を周辺各地に伝播させる文化拠点でもあり、文化的一体化も進んだ。属州の上層市民にもローマ市民権が拡大し、カラカラ帝によって全自由民に付与された。属州民のローマへの一体化が進んで、イタリア中心であった市民団も変質した。ローマ法も各地の慣習法を取り入れ万民法として属州市民にも適用された。(300字)

## 京都大学 1999 3

問題 近代・現代

欧州

### 独仏関係の変遷

独仏国境に位置するアルザス・ロレーヌ地方の住民は、両国が戦火を交えるたびに国籍の変更を迫られた。19世紀半ばから今日までの独仏関係を中心に、この地方の歴史を300字以内で説明せよ。句読点も字数に含めよ。(20点)

### 解答例

19世紀半ばに進展したプロイセン中心のドイツ統一にフランスが反対して起きた普仏戦争の結果、仏領だったアルザス・ロレーヌ地方は1871年独領となった。石炭・鉄資源の豊かな両地方は統一後のドイツの経済発展を促したが、独仏対立は激化した。この対立を背景とした第一次世界大戦ではドイツが敗北し、ヴェルサイユ条約で両地方は仏領となった。第二次世界大戦中の1940年ドイツが占領したが、ドイツ敗戦後は仏領に戻った。戦後、両地方の資源をめぐる独仏対立の解消のため、両国の石炭・鉄鋼を共同管理する構想をもとにECSGが成立した。これはEC・EUに発展し、独仏協調を軸にしたヨーロッパ統合が進展して、今日の通貨統合に至っている。(300字)

## 京都大学 1998 3

問題 現代

欧州

### ファシズム体制の成立

20世紀の二つの世界大戦の間に、イタリアとドイツでは、ファシスタ党とナチスがそれぞれ一党独裁を実現し、ファシズムと呼ばれる全体主義国家体制を樹立した。このような国家体制が両国において成立した理由について、19世紀後半の国家統一以来の両国の歴史を視野におさめながら、300字以内で説明せよ。句読点も字数に含めよ。(20点)

### 解答例

イタリア・ドイツ両国は、上からの統一後、旧支配勢力の力を利用して上からの近代化政策をとってきた。イタリアは「未回収のイタリア」獲得のため第一次世界大戦に参戦したが、その実現が不十分でヴェルサイユ体制に不満だったうえ、戦後国民生活が悪化した。この状況下で労働者や農民の社会主義的運動が激化すると、それを恐れた大地主や軍部などの支持を得たファシスト党が勢力を拡大した。ドイツは、国民各層のヴェルサイユ体制への不満に加え、ヴァイマル憲法下での民主化が徹底されないうちに世界恐慌に巻き込まれた。社会不安が高まるなか、中産階級に加え、共産主義の勢力拡大を恐れた大資本家や軍部もナチスを支持するようになった。(300字)

☒

## 京都大学 1997 3 a

問題 古代・中世

欧州・西アジア

### 各時代の都市の特徴

世界史において都市は、人間の集団生活の形態としてきわめて早い時期から、また様々な地域で出現するが、その性格は多様である。シュメール人の都市国家、ギリシアのポリス、中世ヨーロッパの都市の各々の特色を、相違を明確にしつつ200字以内で述べよ。

### 解答例

シュメール人の都市国家は王や神官団が神権政治のもと、民衆を支配する身分制社会であった。ギリシアのポリスは中小土地所有農民の重装歩兵集団による市民共同体の社会であったが、奴隷制を基盤とした。中世ヨーロッパ都市は商工業中心の経済的共同体で、農奴制の束縛や領主支配から自立していた。しかし市政を行う市参事会はギルドの代表が独占し、ギルドは徒弟制度の規制の下にあって、都市の自由は特権市民層に限定されていた。(200字)



## 京都大学 1997 3 b

問題 現代

欧州

仏第四共和政と第五共和政の植民地政策

第二次世界大戦後フランスでは、1946年に第四共和政が成立し、1958年に第五共和政がこれに代わって今日にいたっている。この2つの共和政が旧フランス領植民地の独立化の動きに対してそれぞれどのように対処したかを、両共和政の政治形態の違いにも触れながら、200字以内で説明せよ。説明に当たっては、下記の2つの語句を適切な箇所です必ず一度は用いよ。

ディエンビエンフー ド= ゴール

### 解答例

第四共和政はヴェトナムの独立を承認せずインドシナ戦争を起こしたが、ディエンビエンフーの戦いに敗北し、1954年にジュネーブ休戦協定を結んだ。同年にアルジェリアでも独立戦争が起ると、大統領権限が弱体な第四共和政は世論の分裂に対応できず、ド・ゴールによって大統領権限が強大な第五共和政が成立した。第五共和政はアフリカ諸国の独立を承認し、1962年にはエビアン協定によってアルジェリアの独立も承認した。(195字) ☒☒

## 京都大学 1996 3 a

問題 古代

欧州

ローマ帝国におけるキリスト教の発展

起源1世紀後半から4世紀末に至るまでのローマ帝国におけるキリスト教の発展について、200字以内で説明せよ。説明に当たっては、下記の2つの語句を適切な箇所です必ず一度は用い、用いた箇所には下線を施せ。

ディオクレティアヌス 三位一体

### 解答例

階級や民族を越える神の絶対愛と救済を説いたキリスト教は、皇帝崇拝拒否などを理由にネロ帝以来ディオクレティアヌス帝までたびたび迫害を受けながらも下層民から、また3世紀の混乱期には社会不安を背景に上層市民まで信者を拡大した。そこで帝国統一をもくろむコンスタンティヌス帝がミラノ勅令で公認し、ニケーア公会議で教義の統一が図られ、三位一体を説くアタナシウス派が正統となり、テオドシウス帝によって国教とされた。

京都大学 1996 3 b

問題 近世

欧州

イギリスとフランスの重商主義

16世紀から18世紀にかけてヨーロッパの諸国家は、重商主義政策をとって自国の商工業を保護・育成しようとした。この重商主義政策はイギリスとフランスにおいてどのような形で行われたか、具体的な事実を挙げて、200字以内で論述せよ。

解答例

イギリスは東インド会社で綿布を求めインドに進出する一方、北米にも進出して植民地帝国を築き、植民地の商工業を抑圧して本国の市場として本国の商工業の育成を図るとともに、航海法で中継貿易を排除して本国と植民地の貿易の独占を図った。フランスはコルベールが王立マニファクチュアを設立し、保護関税政策を行って産業の育成を図った。東インド会社を再建するなど海外進出を目指し、植民地貿易から外国人を排除した。(197字)

京都大学 1995 3 a

問題 中世

欧州

中世ヨーロッパの遠隔地商業

11～14世紀のヨーロッパの遠隔地商業について、主な商業圏とその代表的都市および商品を挙げて、200字以内で論述せよ。

解答例

a北海・バルト海商業圏では、リューベックを盟主とするハンザ同盟都市が、イギリスの羊毛やフランドル地方の毛織物を、北欧の海産物や木材、東欧の穀物や毛皮と交易した。南方の地中海商業圏では、フィレンツェなど内陸都市の毛織物と南ドイツの銀を、ヴェネツィアなどの海港都市がアジアの香辛料と交易した。両地域を結ぶ内陸商業圏では、南ドイツのアウクスブルクなどの都市が、フランスではシャンパーニュ地方の都市が発展した。(200字)

## 京都大学 1995 3 b

問題 現代

欧州

### イギリス連邦

イギリスは19世紀後半以来、白人移住植民地に自治権を与えてこれを帝国内につなぎ止める政策をとり、20世紀初頭までにカナダ・オーストラリア・ニュージーランド・南アフリカ連邦が自治領となった。これらの自治領は、第一次世界大戦後いっそう独立化の傾向を強め、やがて「イギリスの連邦」の両大戦間の時期における成立経過と経済的機能について、下記の2つの語句を用いて説明し、さらに第二次世界大戦後に同連邦の構成に生じた変化について述べよ。字数は全体で200字以内にとどめよ。

ウェストミンスター憲章 オタワ会議

### 解答例

b1926年のイギリス帝国会議による本国と自治領の対等の宣言が、1931年のウェストミンスター憲章で法文化されたことでイギリス連邦が成立した。世界恐慌が発生すると1932年のオタワ会議でイギリスはイギリス連邦各国に連邦内特惠関税を提案し、スターリング＝ブロックを形成することで恐慌脱出をはかった。しかし第二次大戦後は新たに独立した国が加盟する一方、アイルランドや南アフリカなどが離脱し、構成に変化が生じた。

## 京都大学 1994 3 a

問題 古代

欧州

### ポリスの衰退

アテネ・テーベの連合軍がカイロネア（ケーロネア）の戦いでフィリッポス2世に敗北して、ギリシア世界はマケドニアの支配下に入ることとなった。しかし、ギリシアの衰退は、単に北方の新興国マケドニアの軍事力に屈服したためではなく、ギリシア世界内部にもその原因をもとめることができる。この点に注目しながら、ペロポネソス戦争終結以後のギリシアの衰退について、150字以内で説明せよ。説明に当たっては、下記の2つの語句を適切な箇所です必ず一度は用い、用いた語句には下線を付せ。

ペルシア 傭兵

### 解答例

B  
多くのポリスはペロポネソス戦争後もアケメネス朝ペルシアの干渉を受けつつ抗争を続けた。この絶え間ない戦乱で農地は荒廃し、多くの農民が土地を失い、貨幣経済の進展で貧富の差が拡大した。この結果、重装歩兵を担っていた市民が没落し、傭兵の使用が流行して市民皆兵の原則が崩れ、ポリス社会は内部から解体していった。（150字）

.....

## 京都大学 1994 3 b

**問題** 近世

欧州

### 啓蒙専制主義

18世紀のヨーロッパでは、プロイセン(1)、オーストリア(2)、ロシア(3)などに、啓蒙思想の洗礼を受けた君主が出現し、改革的な政治を行った。啓蒙専制君主と呼ばれるこれらの君主の名をそれぞれの国についてあげ、またそれらに共通する背景と政治の特徴を、200字以内で説明せよ。

**解答例**

プロイセンではフリードリヒ2世、オーストリアではヨーゼフ2世、ロシアではエカチェリーナ2世が出現した。これらの中欧東欧諸国は、西欧諸国への食糧供給地域として国際分業体制に組み込まれたため、商工業の発展が遅れて市民層が弱体であり、封建貴族層の権力が残存していた。そこでこれらの君主は啓蒙思想の合理性を利用して統治機構の改革に取り組み、中央集権体制を構築するとともに、重商主義に基づく産業の振興を図った。

.....

## 京都大学 1993 3 a

**問題** 近代

欧州・北米・中南米

### モンロー宣言

1823年のモンロー宣言は、アメリカ大陸がもはやいかなるヨーロッパ諸国による植民地化も受け入れないこと、また、合衆国はヨーロッパの君主制をアメリカ大陸に広げようとする一切の試みに反対すること、などをうたっている。モンロー宣言のこれらの主張は、具体的には、ヨーロッパ諸国のどのような動きに対応したものか。また、宣言はその動きや国際関係にどのような結果をもたらしたか。150字以内で述べよ。

**解答例**

神聖同盟諸国は正統主義維持のためラテンアメリカの独立運動に干渉しようとし、イギリスは独立を支持することで市場の拡大を図っていた。宣言によって神聖同盟諸国は干渉を断念し、ウィーン体制は動揺した。ラテンアメリカ諸国は独立したがイギリス経済に従属した。合衆国は米欧相互不干渉の孤立主義を外交方針とした。

### ヴェルサイユ体制とワシントン体制

第一次世界大戦後に成立したヴェルサイユ体制とワシントン体制は、その成立事情、またそれぞれの主導権を握った国が違った点などで、異なる側面を持つとともに、またおのおのが戦後の国際秩序の安定を目指した点で、互いに関連しあう関係にもあった。ヴェルサイユ体制の主導権を握った国、およびワシントン体制の中心となった国はどこであったかをまず記せ。その上で、ヴェルサイユ体制が目指したヨーロッパの国際協調が1926年までに一応の実現を見ていく過程、および、ワシントン体制を支えた条約の一つであった九カ国条約の内容とそれが中国と日本との関係に及ぼした直接の影響を説明せよ。説明は全体として200字以内にとどめること。

### 解答例

ヴェルサイユ体制ではイギリスとフランス。ワシントン体制ではアメリカ。1924年のドーズ案が賠償金問題の道筋を示した。1925年のロカルノ条約で集団安全保障体制が成立し、ラインラント非武装化などがドイツを含むヨーロッパ諸国で合意され、1926年にドイツの国際連盟加盟が実現した。九カ国条約では、中国の主権尊重・領土保全などが確認され、二十一カ条要求で規定された日本の排他的権益は後退した。(197字)

### ギリシア文化の普及

約300年間にわたるヘレニズム時代には、エジプトや小アジアからインダス流域に至るまでギリシア文化が普及し、いわゆるヘレニズム世界が形成されるが、この時代の途中からは、さらにローマ人の間にもギリシア文化が普及するようになる。しかし、このギリシア文化の東西両方向への普及には、受容の仕方や影響の面で重要な相違がある。その相違点を180字以内で説明せよ。

### 解答例

東方ではペルシアの伝統文化と融合してヘレニズム文化が形成され、ササン朝美術やガンダーラ美術にも影響を与えたが、学芸面の影響に留まり、社会制度そのものへの影響は少なく基調文化とはならなかった。西方のローマでは社会制度面も含めてギリシア文化を受容して発展し、それはゲルマンのフランク王国にも継承されて以後のヨーロッパ文化の基調となった。☒☒

## 京都大学 1992 3

問題 中世

欧州

### ロシアにおけるビザンツ帝国の影響

ロシアの歴史にはビザンツ帝国の存在が大きな影を落としている。キエフ公国とモスクワ大公国のそれぞれについて、歴代君主のなかからビザンツ帝国の影響を最も強く受けたとみなされる人物を一人ずつ選び出してその名前を記し、彼らがそれぞれどのような仕方でビザンツ帝国とかかわりを持ち、どのような点でビザンツ帝国の影響を受けたかを述べよ。字数は全体で150字以内にとどめよ。

### 解答例

10世紀末、キエフ公国のウラディミル1世はビザンツ皇帝の妹と結婚してギリシア正教に改宗し、ビザンツ風の専制体制を模倣した。15世紀末、モスクワ大公のイヴァン3世は、ビザンツ最後の皇帝の姪と結婚し、ツァーリを称してビザンツ皇帝の後継者を自認し、皇帝教皇主義を受け継いでギリシア正教会を管理しようとした。(148字)

## 京都大学 1992 3

問題 中世

欧州

### ロシアにおけるビザンツ帝国の影響

“モスクワは第3のローマ”と称せられることがある。これは、ペテロの後継者として首位権を主張したローマ教会に対し、コンスタンティノープル教会が、地上における神の代理人たるローマ皇帝の座所として、聖都の地位はローマからコンスタンティノープルに移り、コンスタンティノープルが第2のローマとなったと主張したことを踏まえている。そこで、なぜモスクワが“第3のローマ”と称されることになったかを、以下の語句を用いて4行以内で記しなさい。

キエフ公国    イヴァン3世

### 解答例

A10世紀末、キエフ公国のウラディミル1世はビザンツ皇帝の妹と結婚し、ギリシア正教に改宗した。15世紀末、モスクワ大公国のイヴァン3世は、ビザンツ最後の皇帝の姪と結婚し、ツァーリを称してビザンツ皇帝の後継者を自認し、正教会の長の座を主張した。

## 京都大学 1991 3

問題 中世

欧州

### 中世ドイツの国家発展の特徴

ドイツの再統一は戦後史の最大の事件の1つであるが、国家形成期までさかのぼってみると、ドイツの分裂と統一は独特の歴史的性格を持っていることがわかる。ドイツは10世紀にいくつかのゲルマン部族の連合体として出発したが、その後の民族国家への歩みは、決して順調なものではなかった。このことを念頭において中世ドイツにおける国家の発展の特色を、画期をなすいくつかの事件をあげ、150字以内で述べよ。

### 解答例

オットーの戴冠によって、皇帝が教会を支配し統治に利用する帝国教会政策が行われた。しかし、帝国教会政策は叙任権闘争の敗北で破綻し、皇帝がイタリアに関与するイタリア政策をとる間に、諸侯の領邦形成が進んだ。13世紀半ばの大空位時代によって皇帝権は失墜し、1356年の金印勅書で帝国は領邦の連邦体となった。

## 京都大学 1991 3

問題 近代

北米

### 米西戦争の影響

米西戦争（アメリカ＝スペイン戦争 1898年）の結果は、その後のアメリカ合衆国の対外進出にどのような影響を与えたか。東西両半球を視野に入れ、具体的事例を示して150字以内で説明せよ。

### 解答例

米西戦争に勝利してフィリピン・グアムを獲得し、ついで門戸開放宣言を出して中国市場への参入をはかった。またプエルトリコを獲得し、キューバを事実上保護国としてカリブ海政策を進めた。そしてパナマの独立を支援し、パナマ運河の敷設権を得て大西洋と太平洋を結び、東西両半球で積極的な帝国主義外交を展開した。

京都大学 1990 3 a

問題 近世

欧州・東アジア

イエズス会の活動

a次の(イ) (ロ)の2つの事実の間にはどのような関連があるか。150字以内で説明せよ。

(イ)ルターの運動を起点としてヨーロッパ各地でおこった宗教改革運動は教会の分裂を招き、ローマ=カトリック教会に大きな打撃を与えた。

(ロ)明末から清初にかけて、マテオ=リッチ、アダム=シャル、フェルビーストラが、自然科学をはじめとするヨーロッパの新しい知識を中国に伝えた。

解答例

宗教改革が進展すると、ローマ=カトリック教会側は対抗宗教改革で巻き返しを図った。その中心になったのがイエズス会で、積極的な海外布教を進めた。イエズス会宣教師は中国布教を行うにあたり、中国の支配層である読書人に接近するためヨーロッパの新知識を紹介したので、中国に新しい地理や天文学の知識などが広まった。

京都大学 1990 3 b

問題 近代

北米

南北戦争の背景

アメリカ合衆国において南北戦争がおこる重要な背景となった黒人奴隷制度をめぐる北部と南部の対立を、西部開拓の進展と関連づけて、150字以内で説明せよ

☒☒

解答例

西部に誕生する州を自由州とするか、奴隷州とするかで北部と南部が対立し、ミズーリ協定で妥協がはかられた。しかしカリフォルニアの自由州昇格によるミズーリ協定無効を主張した南部は、決定を住民投票にゆだねるカンザス=ネブラスカ法を成立させた。対して北部は、奴隷制拡大に反対する共和党を結成し対立は激化した。☒☒

京都大学 1990 3 c

問題 近代

欧州

日露戦争とヨーロッパ列強の関係

日露戦争(1904-1905年)の結果ロシアの東アジアへの進出がとまったことによって、ヨーロッパ列強(英、仏、独、伊、墺、露)どうしの関係はどのような影響を受けたか。150字以内で説明せよ。

解答例

日露戦争で敗北した露は、パン=スラブ主義によるバルカン南下政策を再開し、パン=ゲルマン主義を唱える独墺と対立した。一方中国方面での露との対立が緩和した英は、中東進出を目指す独の3B政策を警戒して露に接近し、1907年英露協商が成立した。この結果、フランスも含めて三国協商が成立し、三国同盟と対立した。



## 京都大学 1989 3 a

問題 古代

欧州

### アテネの政治経済

次の問題(a),(b),(c)に、それぞれの制限字数以内で応えよ。

(a)パルテノン廟は紀元前447年から432年にかけて造営され、今日までアテネの繁栄の記念物として残っている。その造営の当時、アテネの政治や経済は、どのような状況にあったか。100字以内で説明せよ。

### 解答例

ペリクレスの指導下に成年男子市民を構成員とする民会が最高機関となって直接民主政が完成する一方、デロス同盟の盟主としてアテネ海上帝国を実現し、同盟の資金を流用して経済的にも繁栄し、全盛期を迎えていた。

## 京都大学 1989 3 b

問題 古代

欧州

### ローマの元首政

次の問題(a),(b),(c)に、それぞれの制限字数以内で応えよ。

(b)ローマ共和政末期の内乱を克服して成立した政治体制は「元首政」と呼ばれ、以後300年間ほど維持される。この体制の特徴を80字以内で説明せよ。

### 解答例

共和政の伝統を尊重し、皇帝は市民の第一人者としてプリンケプスと称して元老院との共同統治の形態をとったが、政治と軍事の最高指導権を一身に独占していた。

## 京都大学 1989 3 c

問題 古代

欧州

### 東ローマ帝国文化の特徴

次の問題(a),(b),(c)に、それぞれの制限字数以内で応えよ。

4世紀末のローマ帝国の東西分裂ののち、1000年以上にわたって存続した東ローマ（ビザンティン）帝国では、西ヨーロッパと異なる独自の文化が形成された。この文化の特色を120字以内で説明せよ。

### 解答例

ローマ法大全の編纂など、古典古代のギリシア・ローマ文化を保持する一方、ギリシア正教会を基盤としたキリスト教文化を発展させた。モザイクとドーム建築を特徴とするビザンツ様式の教会が建築され、聖母子像など、イコンと呼ばれる独自の宗教画が発達した。

.....

京都大学 2008 4 3

**問題** 近世

欧州

アウクスブルクの宗教和議

アウクスブルクの宗教和議の内容を、簡潔に説明せよ。(50字程度)

**解答例**

領邦にカトリックとルター派の選択権を認めたが、カルヴァン派は承認されず、個人の信仰の自由もなかった。

.....

京都大学 2007 4 16

**問題** 近代

北米

合衆国憲法にみえる連邦統治機構

アメリカ合衆国憲法が定めた連邦統治機構を30字程度で説明せよ。

**解答例**

行政を大統領が、司法を最高裁判所が、立法を連邦議会が担う。(29字)

.....

京都大学 2007 4 3

**問題** 古代

欧州

ラティフンディアとコロナトゥス

3世紀にはローマ帝国の社会経済的基盤も変化する。農業・土地制度における変化を30～40字程度で述べよ。

**解答例**

奴隷を用いたラティフンディアから、小作人より地代を徴するコロナトゥスへ変化した。

.....

京都大学 1998 4

**問題** 近世

欧州

ウェストファリア条約の内容

三十年戦争を終結に導いた講和会議は、最初の近代的な国際会議ともいわれる。この会議で結ばれた条約の主な内容を120字以内で説明せよ。

**解答例**

アウクスブルクの和議が確認され、カルヴァン派も公認された。神聖ローマ帝国は領邦主権が承認されたことで有名無実化し、主権国家体制が確立した。オランダとスイスの独立が承認される一方、フランスがアルザスをスウェーデンが西ポンメルンを獲得した。

国民議会の成立

1789年に招集された身分制議会からどのようにして国民議会が生まれたか。その経緯を60字以内で述べよ。

解答例

身分別議決を主張する第一・第二身分と、個人別議決を主張する第三身分が対立したため、第三身分が国民議会の分離を宣言した。